

2017年3月期 第2四半期 決算説明資料

株式会社キトー（東証1部：6409）

2016年11月14日

1. 市場環境

世界経済の減速懸念、エネルギー産業向け設備投資の低迷、中国経済の低迷などによる不透明感が継続。

2. 第2四半期業績

円高の進行ほか、外部環境が厳しいなか、日本国内のインフラ投資需要が業績を下支え

- ・売上高 22,695百万円(前年比△12.1%) (開示予想 22,700百万円 計画通り)
- ・営業利益 1,437百万円(前年比 △4.5%) (開示予想 1,250百万円 +15.0%)
- ・当期純利益※ 364百万円(前年比 △35.9%) (開示予想 450百万円 △19.1%)

※親会社株主に帰属する四半期純利益

為替レート Q2平均レート 1ドル = 105.3円

3. 総括

- (1) 売上高は国内需要を捉え、当社想定通りに推移
- (2) 中期経営計画を推進、業務効率化と収益性改善を継続
- (3) 為替水準、外部環境の変化は引き続き予断を許さず
- (4) M&A案件を控え、通期の利益予想発表を見送り

1

2017年3月期 第2四半期 決算報告

2

2017年3月期 見通し

3

参考資料

2017年3月期 第2四半期 決算ハイライト

(単位 百万円)	2016/3期 Q2 累計	2017/3期 Q2 累計	前期比
売上高	25,809	22,695	△12.1%
営業利益 (営業利益率)	1,505 (5.8%)	1,437 (6.3%)	△4.5%
為替差損 など		*282	
経常利益 (経常利益率)	1,194 (4.6%)	959 (4.2%)	△19.6%
特別利益		**489	
法人税等		***1,070	
親会社株主に帰属する 当期純利益 (当期純利益率)	568 (2.2%)	364 (1.6%)	△35.9%
EBITDA =営業利益+償却費	2,596	2,444	

注 為替レート (2016/3期Q2→2017年/3期Q2) :

USD 121.8円 → 105.3円 CAD 96.1円 → 81.2円 EUR 135.1円 → 118.2円 RMB 19.3円 → 17.1円

* 期末の外貨建て債権評価において為替が円高に振れたことにより、為替差損 282百万円を計上

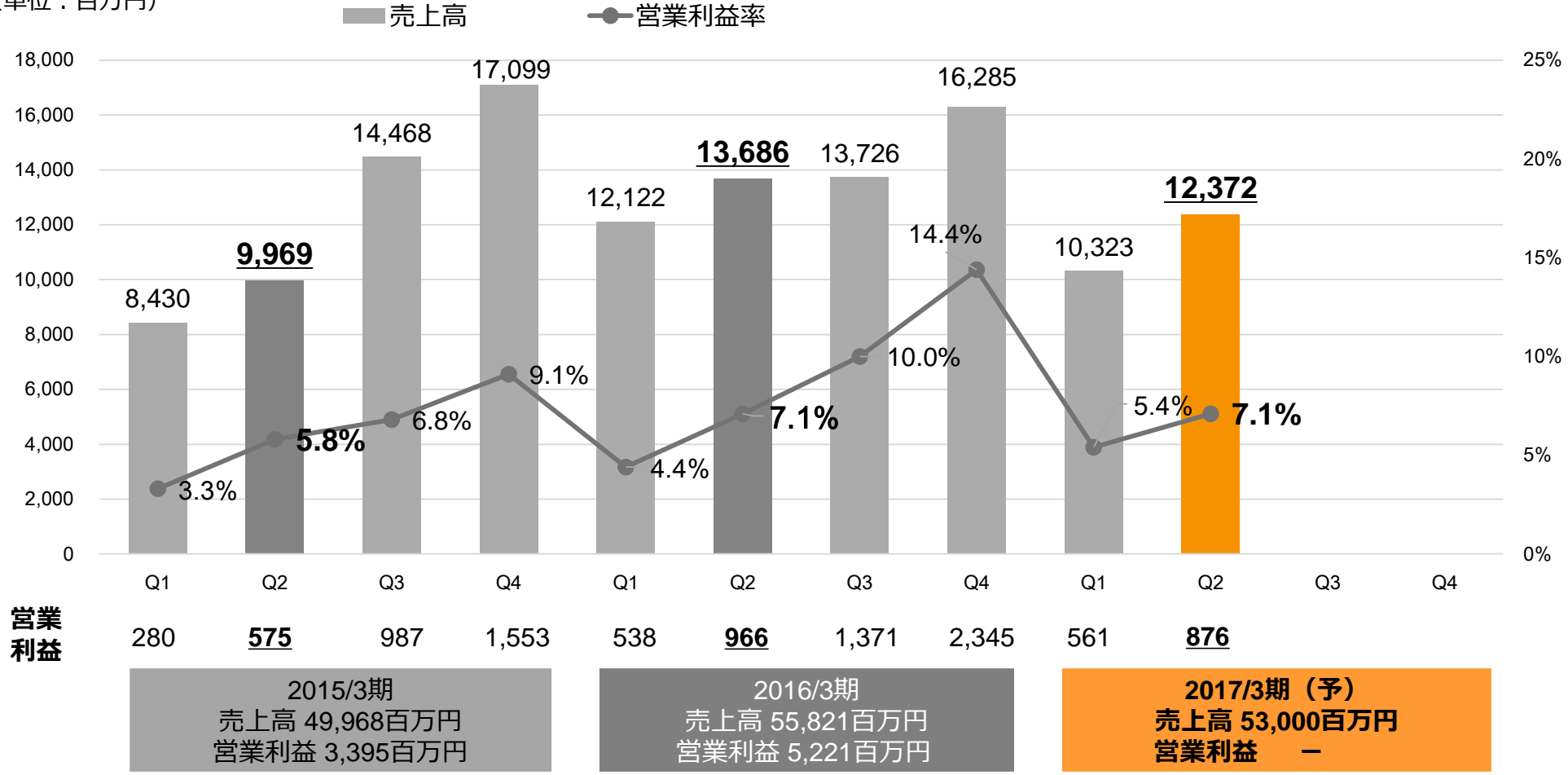
** 買収したPWB Anchor社の純資産の評価額が、取得価額を上回ったことによる「負ののれん」発生益を計上

*** 法人税等 1,070百万円 (法人税等調整額 843百万円を含む) を計上。

売上高および営業利益率（四半期比較）

**国内事業が堅調に推移するも、為替の影響などにより減収
好調な国内需要が利益を下支え**

(単位：百万円)



地域別の状況

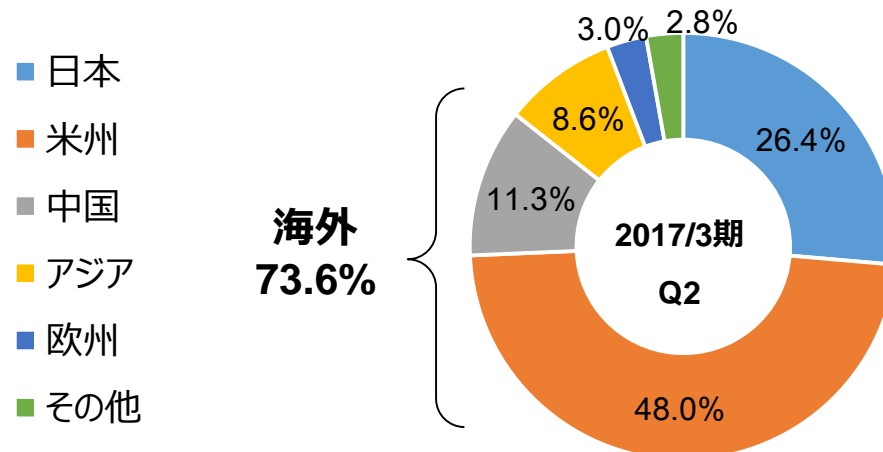
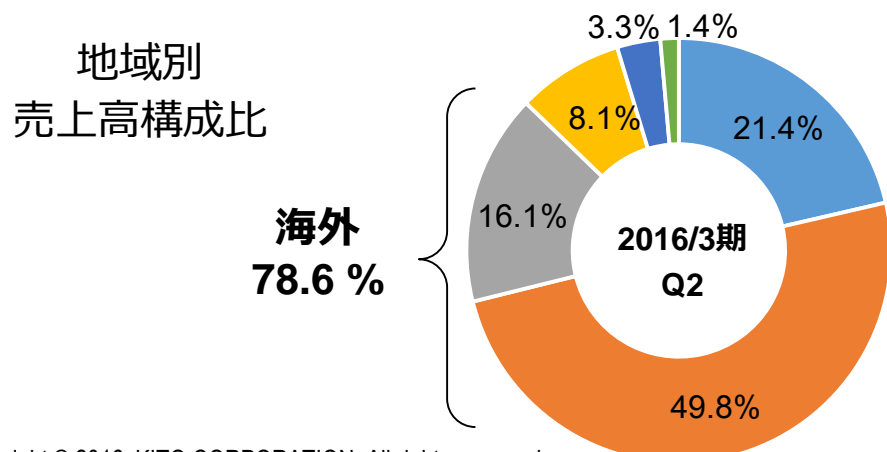
グローバルに地域分散された事業ポートフォリオを展開

(単位：百万円)	2015/3期 Q2累計		2016/3期 Q2累計		2017/3期 Q2累計		前期比	
		構成比		構成比		構成比	増減額	増減率
売上状況	18,400	100.0%	25,809	100.0%	22,695	100.0%	△3,113	△12.1%
日本	5,182	28.2%	5,520	21.4%	5,984	26.4%	464	8.4%
米州	6,151	33.4%	12,853	49.8%	10,885	48.0%	△1,967	△15.3%
中国	4,073	22.1%	4,159	16.1%	2,561	11.3%	△1,597	△38.4%
アジア	1,796	9.8%	2,082	8.1%	1,956	8.6%	△125	△6.0%
欧州	891	4.8%	843	3.3%	672	3.0%	△170	△20.3%
その他地域	304	1.7%	350	1.4%	※ 634	2.8%	283	80.9%

※連結開始した豪のPWB Anchor社の実績を含む

注 為替レート(2016/3期 Q2→2017年/3期 Q2) :

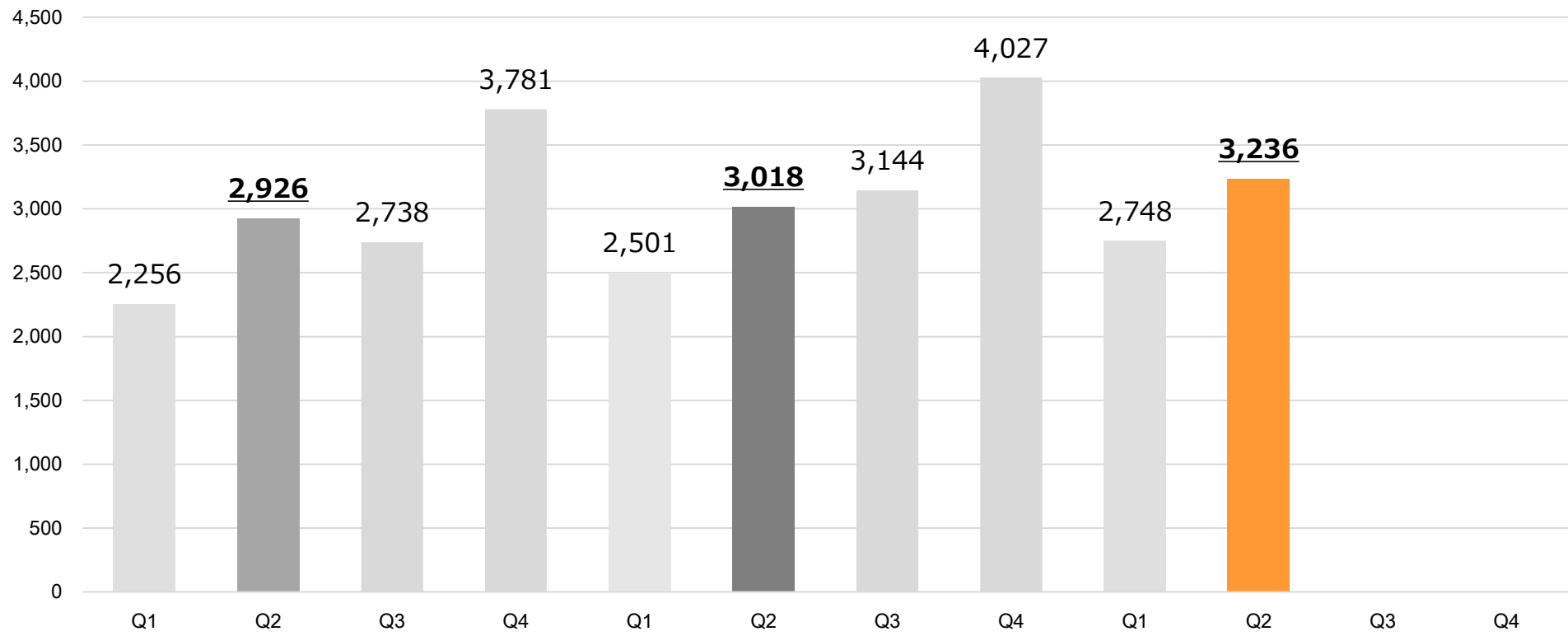
USD 121.8円 → 105.3円 CAD 96.1円 → 81.2円 EUR 135.1円 → 118.2円 RMB 19.3円 → 17.1円



地域別売上高（日本）

- 電力・インフラ整備向けに需要が顕在化
- 民間設備投資は、慎重さがうかがえるも底堅く推移

(単位：百万円)



2015/3期 :
11,702百万円

2016/3期 :
12,692百万円

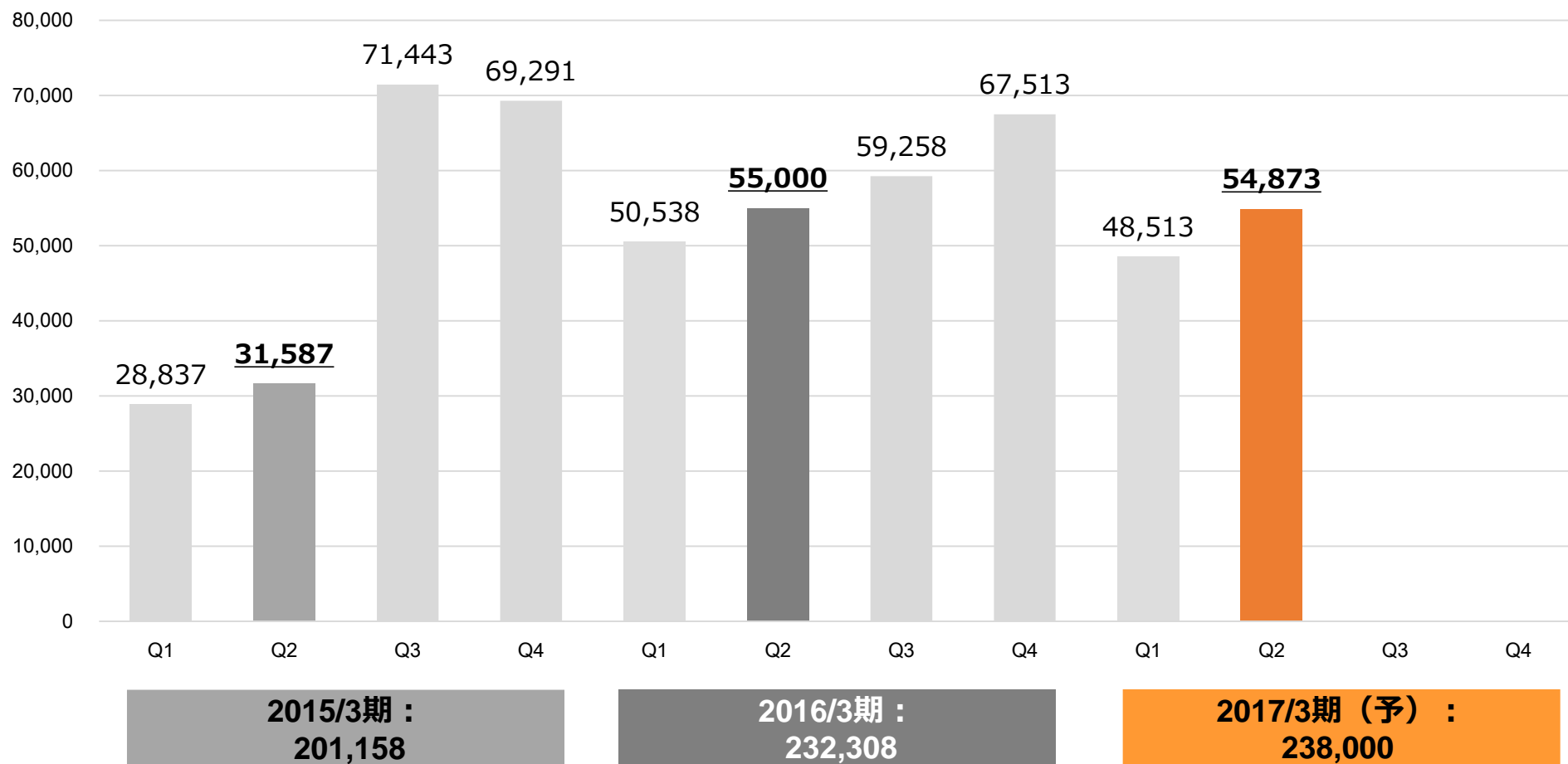
2017/3期 (予) :
12,700百万円

地域別売上高（米州）

※グラフは米国市場売上高にカナダ市場売上高及び中南米市場売上高（千ドル換算）を加算した金額の推移

- 天然資源産業の投資需要が低迷
- 民間の設備投資に手控え感あり

（単位：千USD）

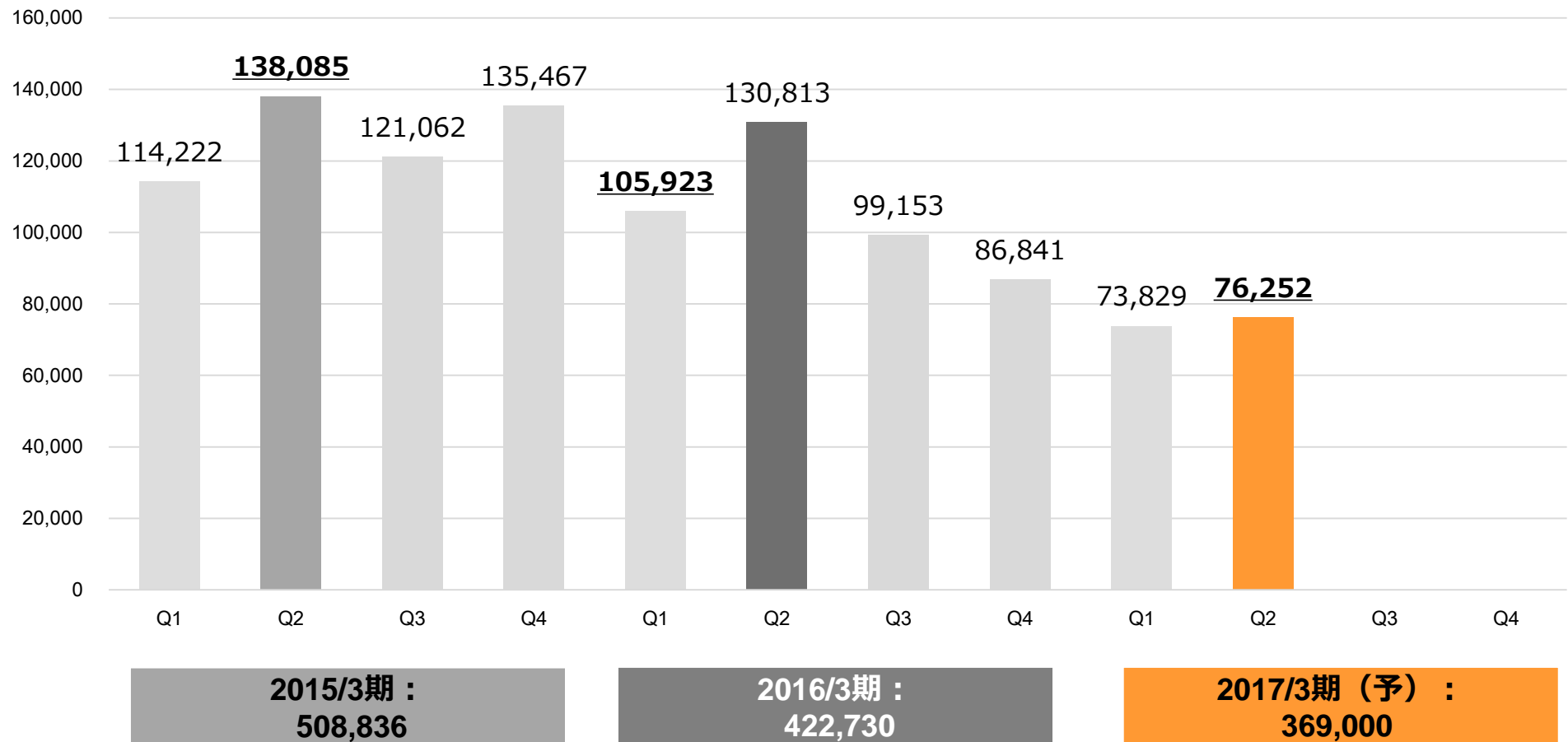


地域別売上高（中国）

※中国は1-12月決算

- 経済の減速が続く、需要は引き続き低迷するなか、コスト削減に注力
- グローバル展開に向けた新形ワイヤロープホイストの生産を本格化

（単位：千RMB）

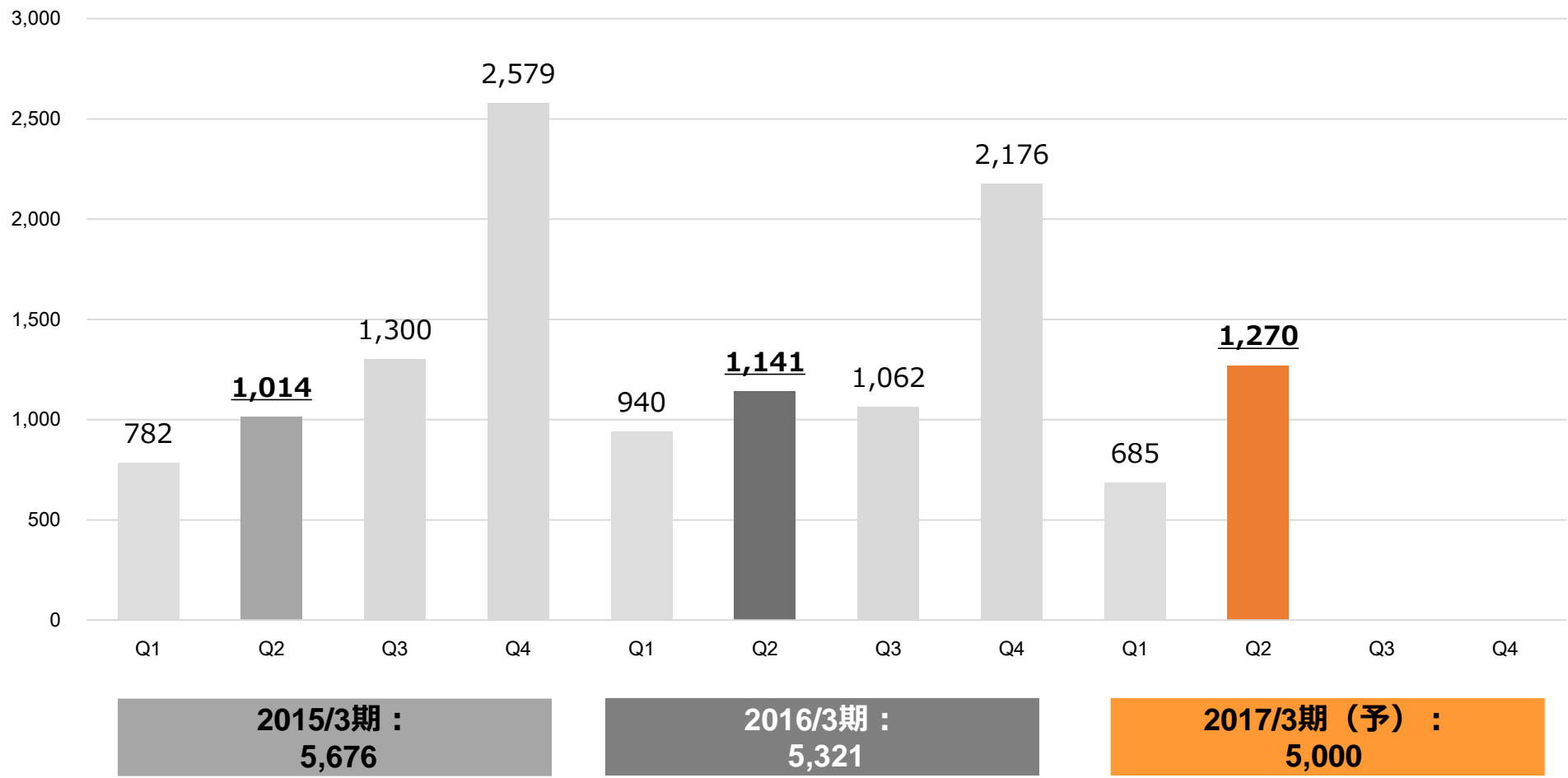


地域別売上高（アジア）

※タイ、韓国は1-12月決算

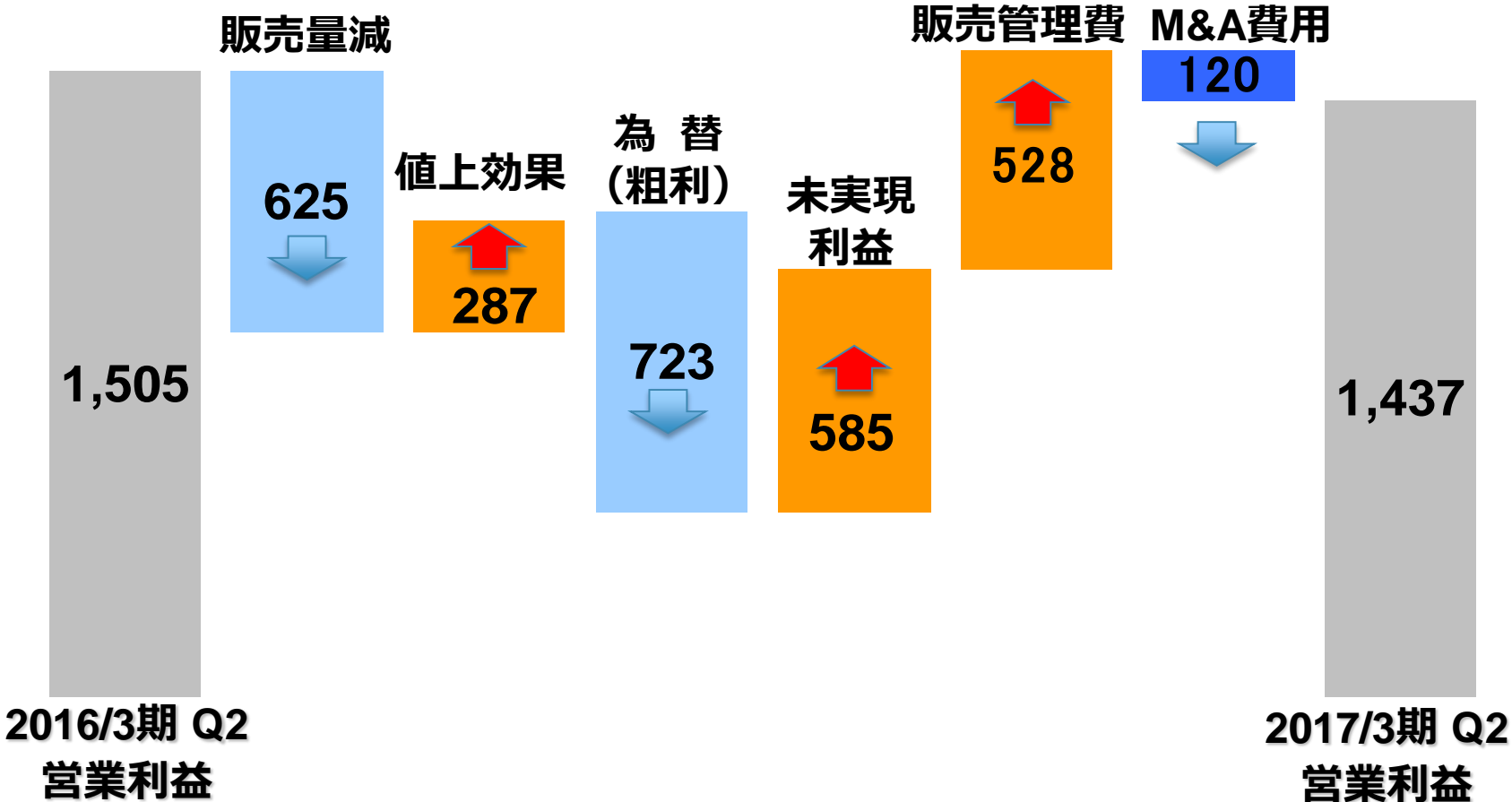
- タイでは、需要低迷のなか、利益管理の強化に成果
- 韓国では、クリーンルーム向けクレーン受注が好調

（単位：百万円）



営業利益の比較

(単位：百万円)



2017/3期 Q2 連結貸借対照表

単位：百万円	2016/3期 期末	2017/3期 Q2	増減額
流動資産	37,599	34,620	△2,978
現金・預金	8,529	7,372	△1,156
受取手形及び 売掛金	11,761	9,337	△2,423
たな卸資産	13,852	15,923	2,070
その他	3,456	1,987	△1,468
固定資産	23,040	21,853	△1,187
有形固定資産	11,901	11,416	△484
無形固定資産	7,896	7,353	△543
投資その他資産	3,242	3,083	△159
資産合計	60,639	56,474	△4,165

単位：百万円	2016/3期 期末	2017/3期 Q2	増減額
流動負債	15,072	20,537	5,465
支払手形及び 買掛金	5,301	6,023	722
短期借入金	4,595	9,804	5,209
その他	5,175	4,709	△465
固定負債	19,527	17,509	△2,017
長期借入金	14,687	13,044	△1,643
その他	4,839	4,465	△374
純資産合計	26,040	18,426	△7,614
負債純資産合計	60,639	56,474	△4,165

連結キャッシュフロー

単位：百万円 (百万円以下切捨て)	2016年 3月期2Q	2017年 3月期2Q	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	1,878	972	△905
投資活動による キャッシュ・フロー	△744	△791	△47
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,470	△928	542
現金および現金同等物 に係る換算差額	△45	△410	△365
現金および現金同等物 の増減額	△381	△1,157	△775
現金および現金同等物 の期末残高	9,395	7,364	△2,031

主な要因

〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕	
税金等調整前当期純利益	1,449百万円
売上債権の減少	1,680百万円
棚卸資産の増加	△2,656百万円
法人税支払い	△665百万円
〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕	
有形固定資産の取得による支出	△519百万円
無形有形固定資産の取得による支出	△462百万円
〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕	
短期借入れによる収入	6,728百万円
長期借入金の返済による支出	△1,459百万円
自己株式取得による支出	△5,462百万円

1

2017年3月期 第2四半期 決算報告

2

2017年3月期 見通し

3

参考資料

日本



市場環境

- 民間設備投資が継続し、ゆるやかな成長を期待
- インフラ整備ほか建築土木の需要拡大を見込む

取り組み

- 新開発ワイヤロープホイストほか新製品を導入し、品揃えを拡大
- クレーンビルダーとの連携強化

米州



市場環境

- 需要は幅広い産業で底堅い推移を期待
- エネルギー関連産業は引続き、需要低迷を予想

取り組み

- 製品品揃えの拡大による市場競争力の強化
- 現地生産の拡大によりサプライチェーン最適化

中 国



市場環境

- 経済の減速が続き、景気の不透明感は払しょくされず

取り組み

- グローバル製品の生産拡大
- コスト削減による利益改善策を継続

ア ジ ア



市場環境

- 中国経済の減速が地域経済に影響し、設備投資が鈍化

取り組み

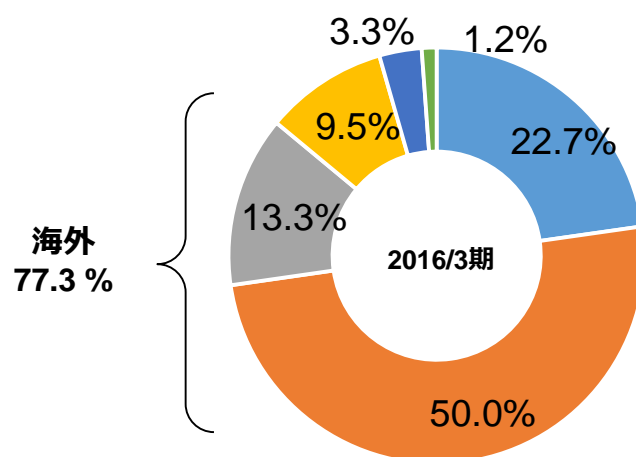
- クレーンのメンテナンスなどサービス事業、ホイスト販売の強化
- タイでの生産拠点の集約化が完了、さらなる収益改善を推進

2017年3月期 業績予想 (地域別)

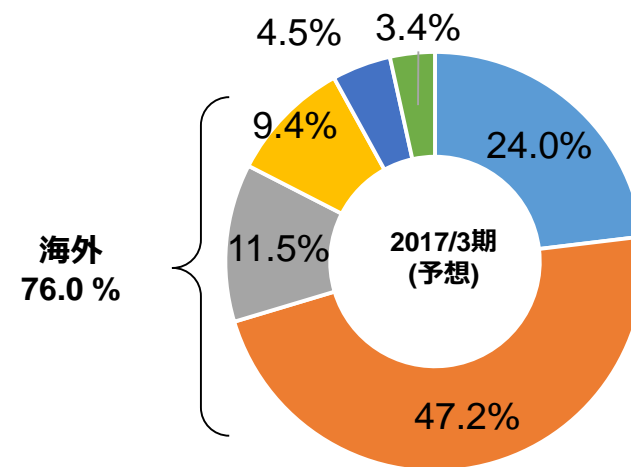
(単位：百万円)	2016/3期		2017/3期 (予想)		前期比	
		構成比		構成比	増減額	増減率
売上状況	55,821	100.0%	53,000	100.0%	△2,821	△5.1%
日本	12,692	22.7%	12,700	24.0%	7	0.0%
米州	27,909	50.0%	25,000	47.2%	△2,909	△10.4%
中国	7,418	13.3%	6,100	11.5%	△1,318	△17.8%
アジア	5,321	9.5%	5,000	9.4%	△321	△6.0%
欧州	1,837	3.3%	2,400	4.5%	562	30.6%
その他地域	642	1.2%	1,800	3.4%	1,157	180.4%

注 為替レート(2016/3期→2017/3期) :
 USD 120.1円→**105.0円** CAD 91.8円→**75.0円** EUR 132.6円→**120.0円** RMB19.2円→**16.5円**

地域別
売上高構成比

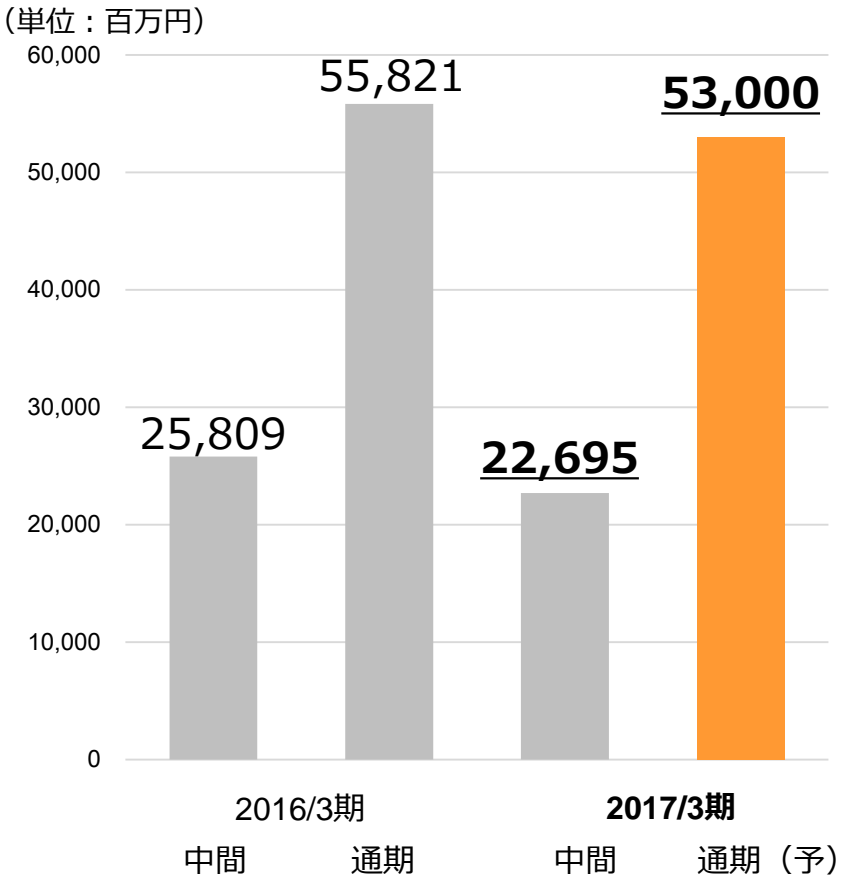


- 日本
- 米州
- 中国
- アジア
- 欧州
- その他

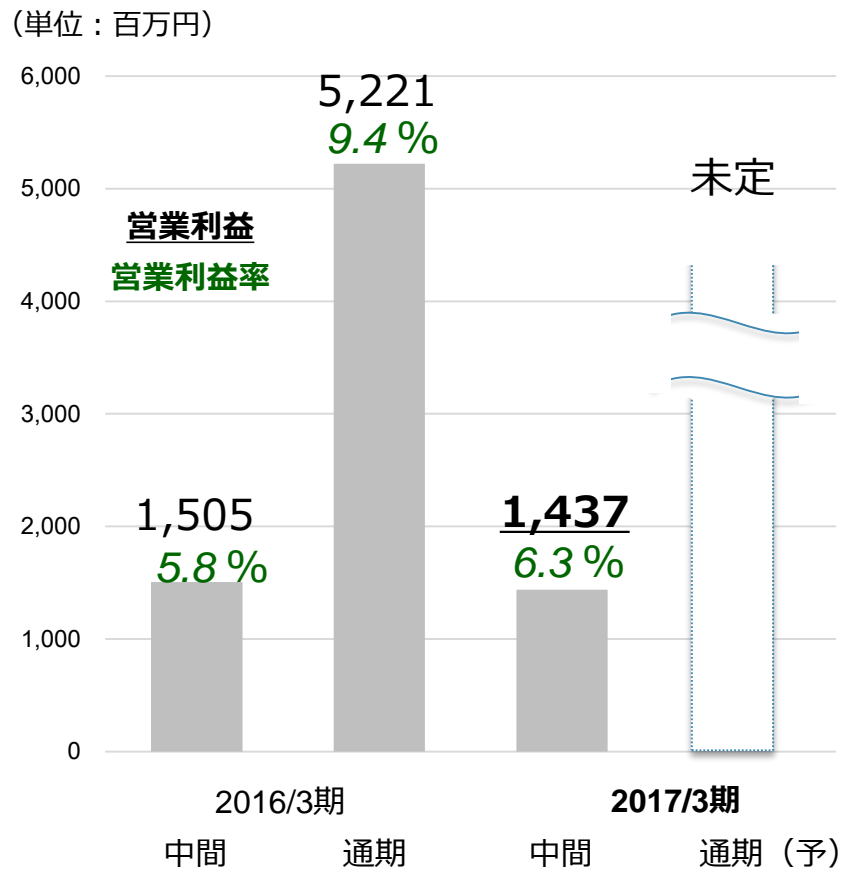


売上は当社想定通り推移するも、事業強化策としてのM & A費用等の見積もりが現時点で困難であることから、営業利益以下は未定とする

売上高



営業利益・営業利益率



9月30日 KONECRANESとの業務資本提携を解消

- －自己株式22%を買戻し
- －KONECRANES傘下の、独STAHL CraneSystems買収のための入札に参加

11月14日 通期業績予想、期末配当予想の修正

- －売上高の通期予想は、530億円から変更なし
足もとの需要が引き続き堅調、下期も当社想定どおりの推移を見込む
- －営業利益以下の予想、および期末配当予想を「未定」に
現時点において、独STAHL CraneSystemsの入札参加に関わる費用を算定中

1

2017年3月期 第2四半期 決算報告

2

2017年3月期 見通し

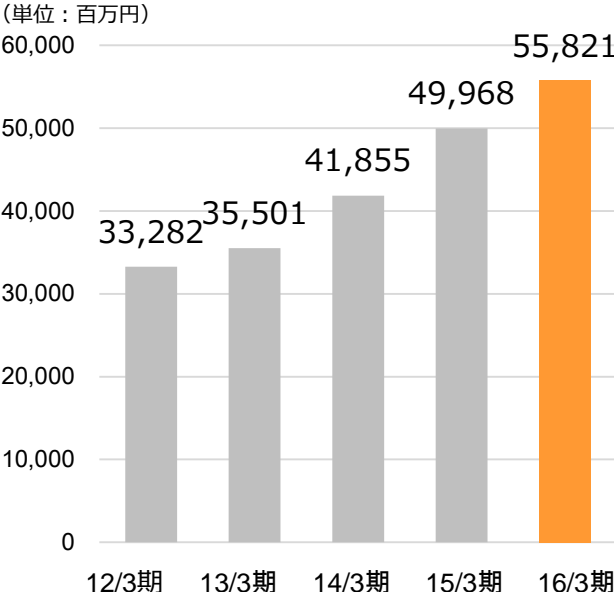
3

参考資料

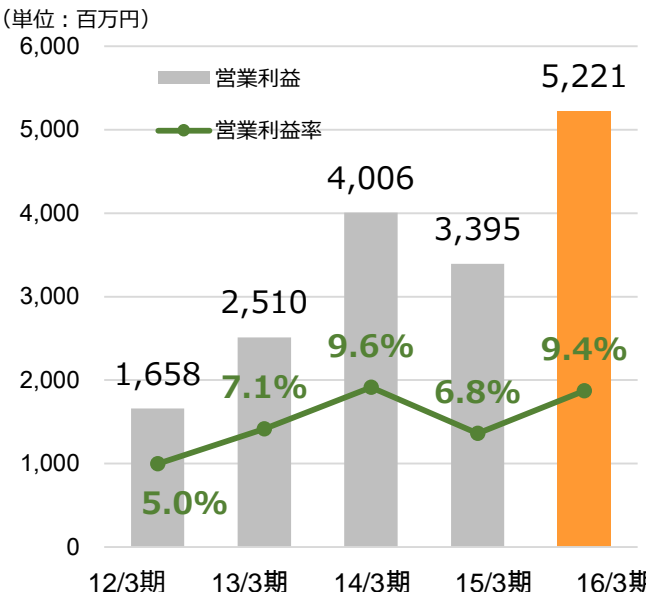
- 5年間の業績・財務情報
- 5年間の地域別売上高推移
- 中期経営計画

業績・財務情報

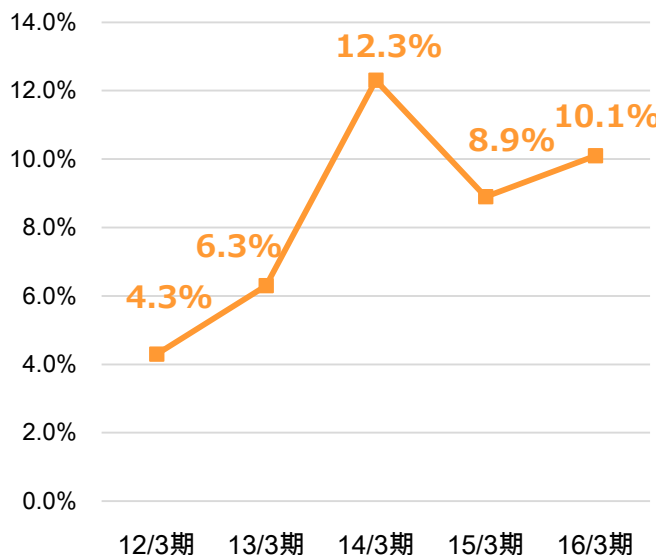
売上高



営業利益・営業利益率

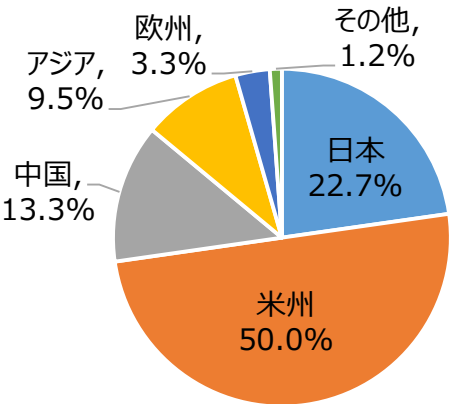


ROE



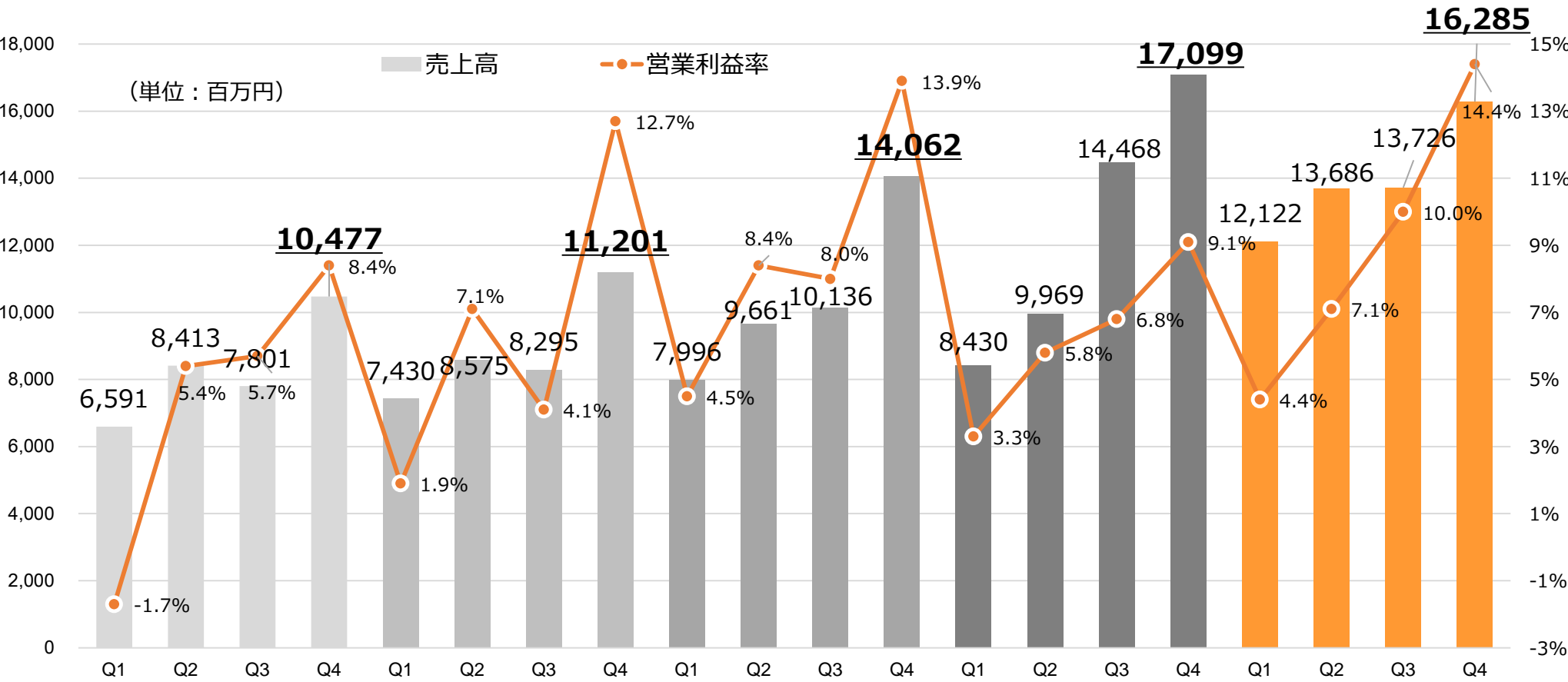
地域別売上高比率

(2016年3月期)



	2012/3期	2013/3期	2014/3期	2015/3期	2016/3期
海外比率	67.1%	67.1%	72.2%	76.6%	77.3%
為替平均レート					
USD	79.0円	83.1円	100.2円	109.9円	120.1円
CAD	79.7円	82.9円	95.1円	96.5円	91.8円
EUR	108.9円	107.1円	134.4円	138.8円	132.6円
RMB	12.3円	12.6円	15.9円	17.2円	19.2円
設備投資額(百万円)	1,145	1,520	2,440	1,408	2,013
減価償却費(百万円)	944	774	954	1,311	1,814

売上高および営業利益率（四半期比較）



営業利益

△117 454 443 **878** 139 609 343 **1,419** 360 806 809 **2,030** 280 575 987 **1,553** 538 966 1,371 **2,345**

2012/3期
売上高 33,282百万円
営業利益 1,658百万円

2013/3期
売上高 35,501百万円
営業利益 2,510百万円

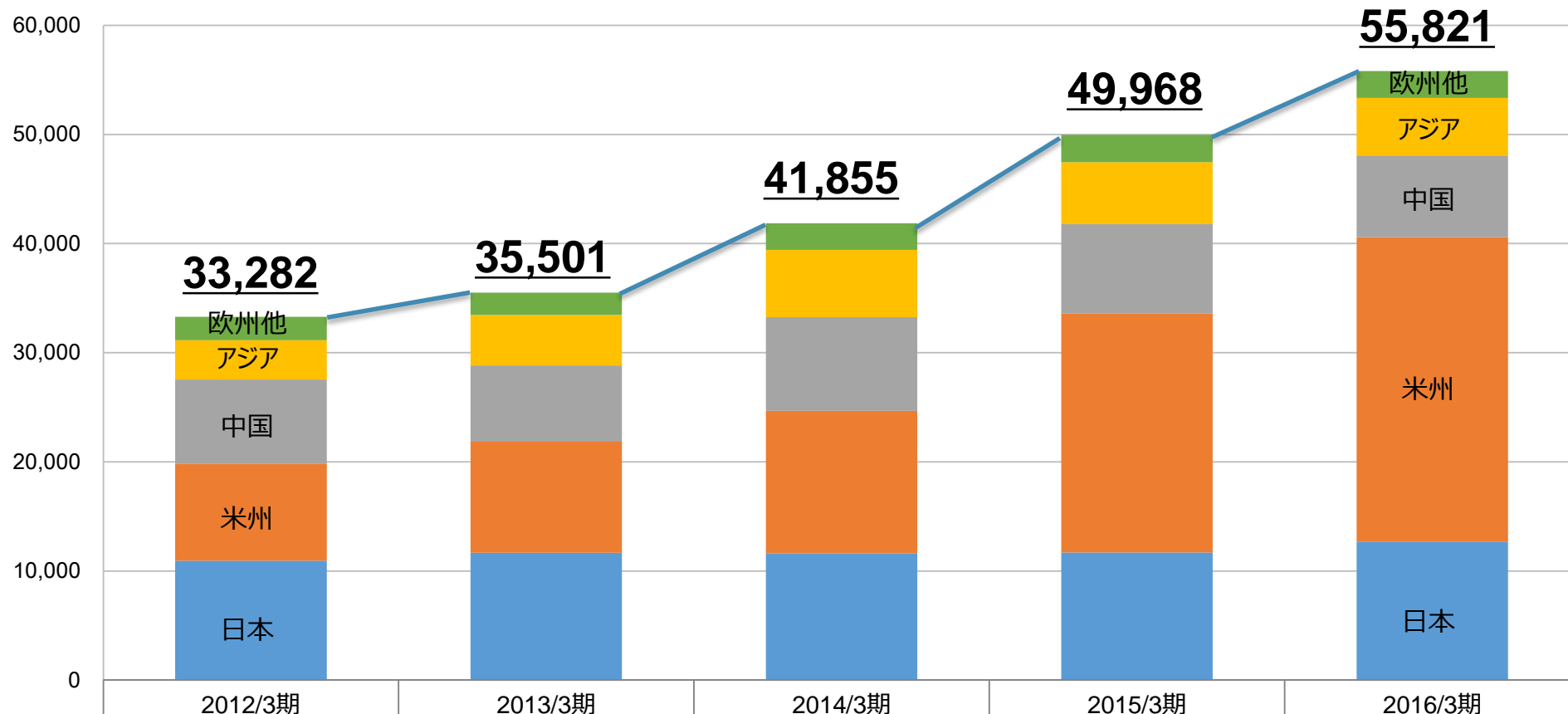
2014/3期
売上高 41,855百万円
営業利益 4,006百万円

2015/3期
売上高 49,968百万円
営業利益 3,395百万円

2016/3期
売上高 55,821百万円
営業利益 5,221百万円

地域別売上高推移

(単位：百万円)



■ 欧州他	2,127	2,035	2,424	2,500	2,479
■ アジア	3,608	4,626	6,168	5,676	5,321
■ 中国	7,745	6,994	8,604	8,198	7,418
■ 米州	8,851	10,163	13,034	21,888	27,909
■ 日本	10,949	11,679	11,625	11,702	12,692

中期経営計画 (2017年3月期-2021年3月期)

基本方針

3つの基本方針による“KITO SPIRIT”を原動力とした推進

- 1) 「顧客満足の上昇」を第1の基本方針とする。
- 2) それを実現する「効率的で機能的な組織」を作る。
- 3) そして、組織を作る「人」への積極的な投資を行う。



3つの経営目標に向け 収益倍増を目指す

Goal

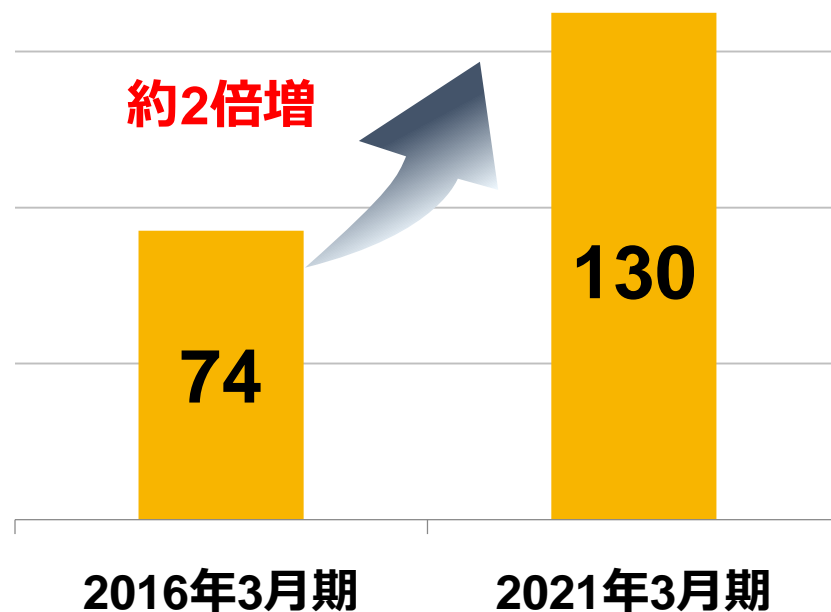
1 高収益体質への回帰

2 製品ポートフォリオ拡充による成長

3 真のグローバル企業への組織進化

Financial Target

EBITDA



(単位：億円)



取扱製品

取扱製品の分類		手動製品	電動製品	クレーン、その他
標準製品	顧客の一般的なニーズに対応した規格製品	 <p>手動チェーンブロック</p> <p>レバーブロック</p>	 <p>電気チェーンブロック</p>  <p>ワイヤロープホイスト</p>	 <p>スリング製品</p>  <p>サドル・クレーンコンポーネント</p>
	売上シェア : 73.7%	 <p>手動チェーンブロック</p>	 <p>ライトクレーン</p>  <p>天井走行クレーン</p>	 <p>システムクレーン</p>  <p>マニピュレータ</p>
特殊製品	顧客の様々なニーズに合わせオリジナル設計・製作した製品			
その他	アフターサービス等			
	売上シェア : 13.9%			
	売上シェア : 12.4%			

各種部品の提供、メンテナンス等

(数値は キトー単体)